

湖北医療圏におけるこれまでの検討経過について

これまでの湖北圏域の地域医療提供体制の検討経過【概要】

湖北地域の医療は、市立長浜病院・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院・セフィロト病院の4つの病院を中心に支えられており、県内トップの区域内完結率の高さを誇ります。特に高度急性期および急性期医療については、市立長浜病院と長浜赤十字病院を中心として互いに切磋琢磨する中で連携協力を図り、どの疾患についても概ね区域内で供給できている状況です。しかしながら、医師の働き方改革が迫る中、将来にわたって市民が安心して医療を受けられる環境を整えることが喫緊の課題となっています。

- ◆ 市立長浜病院小児科常勤医師の減少を契機に、平成29年2月から小児救急医療体制と湖北圏域体制について、湖北医師会や病院、行政機関とで協議を行い、啓発事業を実施。
- ◆ 平成29年8月から市立長浜病院と長浜赤十字病院との間で地域医療包括連携協定(仮称)の協議を行う中で、湖北圏域にあった医療提供体制について自主的な議論をしていくことを両病院で確認し、湖北医師会、長浜保健所とともに「湖北地域の高度急性期・急性期医療を考える研究会」を立ち上げ、報告書をまとめた。
- ◆ 平成31年3月の湖北圏域地域医療構想調整会議にて「病院機能の再編案（A B C D）」が4病院長から報告され、その実現に向け事務レベルでの作業を進めていくことが合意された。
- ◆ 令和元年12月の各病院長および事務協議にて、長浜市病院事業、長浜赤十字病院からそれぞれ「湖北医療圏域における新たな病院像」が提案され、実現に向けた論点整理を行った。この中で、再編が始まる前から経営体は一つにすることが確認された。また、長浜市病院事業は3つの病院で地方独立行政法人、長浜赤十字病院は市立長浜病院の指定管理を提案。お互い異なることを確認した。
- ◆ 令和4年3月の長浜市議会本会議にて新長浜市長が「病院の再編について早急に取り組む」と表明。
- ◆ 令和4年6月に京都大学と滋賀医科大学から長浜市長あてに「働き方改革に対応するため地域医療構想の実現に向けた病院再編を早急に進めていただきたい」旨の要望書が出された。

これまでの検討経過 1

月日	
平成29年(2017年) 2月～10月	市立長浜病院小児科常勤医師の減少を契機に、小児救急医療体制と湖北圏域体制について、湖北医師会、市立長浜病院、長浜赤十字病院、長浜保健所、米原市とで協議を行い、啓発事業を実施 ・6月1日号長浜市, 米原市広報「安心して医療を受けられるまちをつくるために」 ・7月1日号長浜市, 米原市広報「湖北圏域の医師不足等の現状について」 ・8月1日号長浜市, 米原市広報「湖北圏域の病院連携について」
平成29年(2017年) 8月～	市立長浜病院と長浜赤十字病院との協議を開始 ・地域医療包括連携協定(仮称)について ⇒ 協定よりも実質的な連携のあり方の協議が必要となった
平成30年(2018年) 6月	湖北圏域にあった医療提供体制について自主的な議論をしていくことを、市立長浜病院と長浜赤十字病院で一致し、研究会を立ち上げることを県へ報告し参画を依頼
平成30年(2018年) 7月	市立長浜病院と長浜赤十字病院との一体的連携に向けた協議のため、研究会を立ち上げることを湖北圏域地域医療構想調整会議にて報告
平成30年(2018年) 8月～11月	湖北地域の高度急性期・急性期医療を考える研究会 計3回開催
平成30年(2018年) 12月	湖北地域の高度急性期・急性期医療を考える研究会 報告書

これまでの検討経過 2

平成31年(2019年) 3月	研究会の報告を受け、湖北圏域地域医療構想調整会議にて、病院機能の再編案（A B C D）が4病院長から報告され、その実現に向け事務レベルでの作業を進めていくことが合意される
令和31年(2019年) 4月～11月	市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院による事務部局長会議（7回）連携に関する勉強会（2回）合同勉強会（3回）を開催
令和元年(2019年) 8月	湖北圏域地域医療構想調整会議にて、A B C Dの病床数（案）が4病院長から報告された
令和元年(2019年) 11月	厚生労働省が長浜市立湖北病院を再検証対象医療機関としたことが、湖北圏域地域医療構想調整会議にて報告された
令和元年(2019年) 12月	各病院長および事務協議にて、長浜市病院事業、長浜赤十字病院からそれぞれ「湖北医療圏域における新たな病院像」が提案され、実現に向けた論点整理を行った この中で、再編が始まる前から経営体は一つにすることが確認された また、長浜市病院事業は3つの病院で地方独立行政法人、長浜赤十字病院は市立長浜病院の指定管理を提案され、お互い異なることを確認した

これまでの検討経過 3

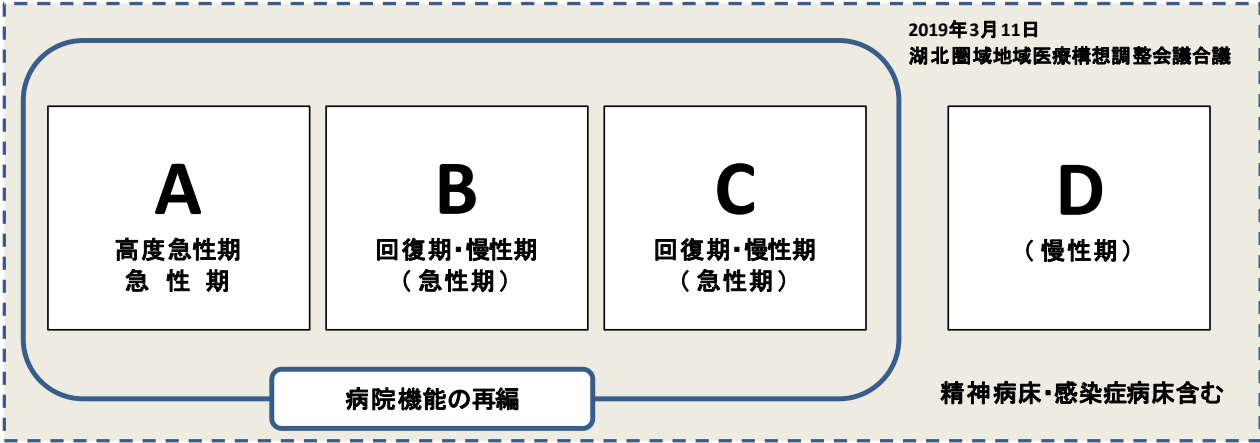
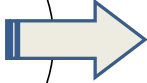
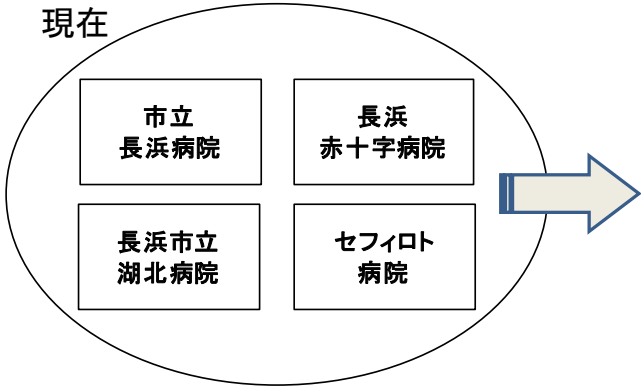
令和2年(2020年)	1月	厚生労働省により、湖北区域が「地域医療構想の実現に向けた重点支援区域」に選定される
令和2年(2020年)	3月	湖北圏域地域医療調整会議（書面会議）にて3病院の新たな取り組み内容を報告
		新型コロナウイルス感染症の発生により以降、調整会議が令和4年(2022年)9月まで中断
令和4年(2022年)	3月	新長浜市長が長浜市議会本会議にて「病院の再編について早急に取り組む」と表明
令和4年(2022年)	4月	長浜市長が京都大学、滋賀医科大学、京都府立医科大学を訪問し、市が進める病院再編への協力を依頼する
令和4年(2022年)	5月	長浜市長が日本赤十字社を訪問し、幹部との面談にて市が進める病院再編への協力を依頼する（以降、数回にわたり幹部と面談）

これまでの検討経過 4

令和4年(2022年)	6月	京都大学、滋賀医科大学から長浜市長あてに要望書が提出される 内容は「医師の働き方改革に対応するため、地域医療構想の実現に向けた病院再編を早急に進めてもらいたい」というもの
令和4年(2022年)	9月	コロナ禍の影響により中断されていた湖北圏域地域医療構想調整会議が開催される 議論された主な内容は「診療科の再編について」、「湖北病院の再検証要請の見直し」など
令和4年(2022年)	9月	長浜市長が長浜市議会本会議にて「令和5年9月までに経営形態を決める」と表明
令和4年(2022年)	9月	長浜市議会で「病院再編にかかる長浜市立2病院経営形態検討委員会」にかかる補正予算が可決
令和4年(2022年)	11月	第1回「病院再編にかかる長浜市立2病院経営形態検討委員会」を開催

2025年までの再編案(イメージ図)

現在



2019年3月11日
湖北圏域地域医療構想調整会議合意

<参考>

地域医療構想 (2025年推計)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
	161	446	288	67	962

607

<参考>

医療計画
基準病床数
1,001床

案

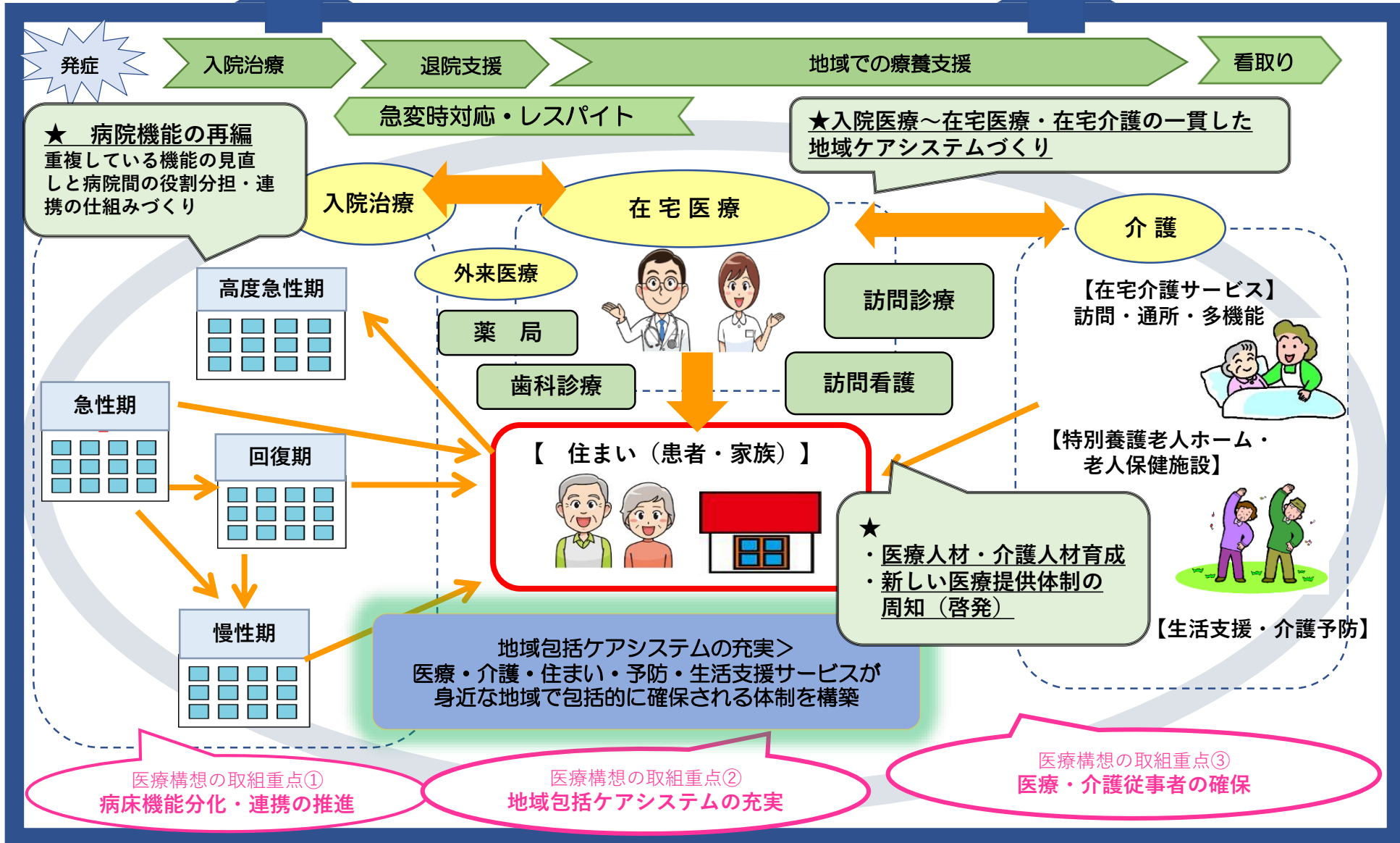
湖北圏域 案	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	小計	精神	感染症	合計
	急性期相当							
	606		280	110	996	249	4	1,249
A病院	606				606	70	4	
B病院		210		50	260			
C病院		70		60	130			130
D病院						179		179

(参考) 開設許可病床数(2022.6.13)
既存病床数(2019.4.1)

	一般	療養	精神	感染症	
	1123				
1170					
(現状)	962	161	249	4	
市立長浜	461	104	70	4	565
	496				
長浜赤十字	418	57	179		492
	430				
湖北	83				140
セフィロト					179

【湖北圏域医療福祉の目標】

地域の誰もが、年老いても住み慣れた地域で、最期まで自分らしく、安心して暮らしていただけるために



スケジュール

	滋賀県（長浜保健所）	長 浜 市	市立長浜病院 長浜市立湖北病院
役割	診療機能の調整・支援	経営形態の検討	診療科の連携・交流
令和4年 6月		6月22日【京都大学、滋賀医科大学来庁】 ○地域医療構想に基づく病院再編を早急に進めてほしい。	
9月 令和5年 3月	湖北圏域地域医療構想調整会議 (年3回程度)	病院再編にかかる 長浜市立2病院 経営形態検討委員会 ・直営(独立行政法人) ・指定管理者制度 全5回開催予定 (公開会議)	令和6年4月以降の診療科決定
4月 9月頃	湖北圏域地域医療構想調整会議 (年3回程度)		令和6年4月以降の診療科 暫定的開始
令和6年 4月以降	新しい体制への準備		医師の働き方改革開始
	新しい経営形態での運用開始		

病院再編にかかる長浜市立2病院経営形態検討委員会

目的 今後将来にわたって湖北圏域において高い水準での医療提供を可能とするためには、市立長浜病院と長浜市立湖北病院が、長浜赤十字病院をはじめとする市内病院との関係の中でどのような経営形態で運営するのがふさわしいのか検討する。

会議

第1回	湖北圏域の医療を取り巻く現状と課題の整理
第2回	医療提供体制に関する詳細な分析と検討
第3回	経営形態の決定に向けた課題整理と方向性の検討
第4回	経営形態のあり方の検討
第5回	経営形態検討内容のまとめ